

新たな体制でより良い地域づくりへ



新たな自治会の設立が承認された総会の様子

冬部地域振興協議会（小倉廣身会長）は3月27日、冬部生活改善センターで冬部、市部内、名前端的の3自治会を統合する冬部自治会設立総会を開催しました。

同協議会は、3自治会が連携し地域活性化を図る組織として発足。環境整備や福祉活動など、自治会の枠を超えて活動しており、近年は人口や世帯数の減少に対応するため新たな自治会のあり方を検討してきました。

総会では、協議会組織を自治会組織に変更する議案が満場の拍手で承認され、新たに



左から久木幸二副会長、小倉廣身会長、下村徳廣副会長

「冬部自治会」が設立。会長には小倉廣身さん（元冬部自治会長）が、副会長には久木幸二さん（元名前端自治会長）と下村徳廣さん（元市部内自治会長）が就任し、小倉会長は「皆さんと一つになって地域づくりを進めていきたい」とあいさつしました。

鈴木重男町長は、「住みよい地域を作ろうとする思いはみんな同じ。それぞれの自治会運営や仕組みの違いを乗り越え、新しい形で地域が発展するようお願いします」と祝辞を述べ、長年冬部の地域づくりに関わってきた廣田純一さん（NPO法人いわて地域づくり支援センター代表理事）は、「冬部は結束が強い地域なので、今後の活動に期待します」と激励しました。



祝辞を述べる鈴木町長と住民を激励する廣田さん

自治会活動交付金に10年間激変緩和措置

町は、統合によって、世帯数などを基準に算定する自治会活動交付金が大幅に減少しないよう、最初の5年間は統合前の水準を維持し、その後5年間で段階的に統合後の自治会の算定基準へ調整する激変緩和措置を講じます。觸澤義美副町長は「統合により交付金が激変したり、地域の負担が増えることのないよう支援します。高齢者の負担軽減や若い人に過重とならない仕組みを、町全体として考えていきます」と説明しました。なお、町行政の運営のために設置する行政区は、冬部、市部内、名前端的の3区で変更ありません。



議案説明に耳を傾ける皆さん

祝 百寿 小川敬さんが100歳に

4月9日、小川敬さん（城内小路）が100歳の誕生日を迎え、鈴木重男町長が入所施設を訪問して、祝い状と祝い金、花束を贈りました。

敬さんは大正11年4月9日生まれ。若い頃には電話交換手をされていたそうです。長年、茶道や華道、舞踊をたしなみ、衣装や小道具を自作して娘さんと「荒城の月」を踊るなど、雅やかで芸達者な方だったとのこと。

現在は、施設で穏やかに過ごされている敬さん。好物のプリンや甘酒を味わいながら、カラオケがあると歌に耳を傾け楽しんでいそうです。娘で4人姉妹の次女、長栄千賀子さん（田子）が「次は105歳が目標ですよ」と声をかけると、にっこりと笑顔を見せていました。



花束を手に笑顔の敬さん

田野森林雇用促進住宅が完成

林業の担い手の暮らしをサポート

林業従事者の暮らしを支援する「田野森林雇用促進住宅」が旧田野小学校の敷地内に完成し、4月から利用が始まりました。

この住宅は、町の基幹産業である林業の振興を図るため、担い手を確保、育成する目的で町が整備した3世帯の共同住宅で、管理運営は町森林組

合が行います。

間取りは単身者向けの1DKで、利用料は月額3万円。入居者の共用設備として靴洗い場も備えた洗濯室が整備され、林業従事者の働き方に配慮されています。

今後、林業の担い手確保と若者の定住に効果が期待されます。



△町産材を活用し整備された田野森林雇用促進住宅



▷入居者が共同で利用できる洗濯室

平庭高原

美しい白樺と鮮やかなツツジをお楽しみください

つつじまつり

6/4(土)▷12(日) 森のこだま館周辺

詳しいイベント内容はチラシでお知らせします。

問い合わせは葛巻推進課 ☎66-2111 内線233

